

学校・公園の 樹名プレート作成

30周年の記念事業の一つとして、学校の敷地や公園の樹名プレートを作成して取り付ける活動を進めています。

子どもたち一人ひとりが自分の担当する木を決めて、その木とじっくり向き合い、思いをこめてプレートに文字や絵をかいていきます。子どもたちが将来その木とプレートを懐かしく振り返ることができるようにプレートを丈夫に仕上げるため、この活動にご協力いただいている地域の方々が、1枚1枚時間をかけて、大変熱心に準備をしてくださいました。また取り付けの時にも、子どもたちをご指導・ご支援していただきながら、一緒に活動してくださいました。

子どもたちにとって思い出いっぱいの樹名プレートになることと思います。



アクリル絵の具を使って絵と文字をかいていきます。



出来上がったプレートにはニスを繰り返し塗ります。



ねじを取り付けます。



板を準備するところから最後の取り付けのところまで全ての段階で、この活動を支えてくださる地域の方々に、たくさん教えていただき、たくさんご協力いただきました。

成長していく木と、子どもたちの思いを大切にしながら、温かく熱心にご協力いただきました。

